

国土交通省近畿地方整備局
資料配布

配布 日時	平成21年9月4日 14時00分
----------	---------------------

件名	「淀川水系河川整備計画の進捗点検に関する 試行報告書」の公表
----	-----------------------------------

概要	<p>「淀川水系河川整備計画の進捗点検に関する試行報告書」について、平成21年8月3日（月）に淀川水系流域委員会より意見を頂きました。委員会からいただいた意見については、今後の進捗点検作業において十分参考にさせていただきます。</p> <p>また、この意見を踏まえ、対応可能な内容については試行報告書を修正し、とりまとめましたので近畿地方整備局のホームページに掲載します。</p> <p style="text-align: center;">http://www.kkr.mlit.go.jp/river/yodo_sui/index.html</p>
----	---

取扱	_____
----	-------

同時 配布	<table> <tr> <td>近畿建設記者クラブ</td> <td>大手前記者クラブ</td> </tr> <tr> <td>滋賀県政記者クラブ</td> <td>京都府政記者室</td> </tr> <tr> <td>兵庫県政記者クラブ</td> <td>奈良県政記者クラブ</td> </tr> <tr> <td>名張市政記者クラブ</td> <td>伊賀記者会</td> </tr> </table> <p>神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ所属で資料が必要な方は「近畿地方整備局記者クラブの調(しらべ)06-6942-1141(内線2811)」に問い合わせ願います。</p>	近畿建設記者クラブ	大手前記者クラブ	滋賀県政記者クラブ	京都府政記者室	兵庫県政記者クラブ	奈良県政記者クラブ	名張市政記者クラブ	伊賀記者会
近畿建設記者クラブ	大手前記者クラブ								
滋賀県政記者クラブ	京都府政記者室								
兵庫県政記者クラブ	奈良県政記者クラブ								
名張市政記者クラブ	伊賀記者会								

問い合わせ先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川調査官 宮武 晃司 電話：06-6942-1141（代）（内線3513）</p>
--------	---

※参考として試行報告書の「Ⅰ目的」、「Ⅱ進捗点検の考え方」及び「Ⅲ河川整備計画の内容と進捗点検の関係」を抜粋

淀川水系河川整備計画の進捗点検に関する 試行報告書

～ 平成 18～20 年度の実施事業等を対象として ～

平成 21 年 9 月 4 日

国土交通省 近畿地方整備局

目次

I	目的	1
II	進捗点検の考え方	
III	河川整備計画の内容と進捗点検の関係	
IV	進捗点検結果	
	(1) 人と川のつながり	
	○日常からの川と人のつながりの構築	6
	○洪水・災害時の人と川のつながりの構築	17
	○上下流の連携の構築	20
	(2) 河川環境	
	○多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	23
	○河川の連続性の確保	32
	○川本来のダイナミズムの再生	37
	○流域視点に立った水環境・物質循環系の構築	44
	○流域管理に向けた継続的な施策展開	53
	<仮称> 河川環境の要点	60
	(3) 治水・防災	
	○危機管理体制の構築	61
	○堤防強化の実施	69
	○川の中で洪水を安全に流下させるための対策	71
	○高規格堤防（スーパー堤防）の整備	75
	○土砂対策	77
	○既設ダム等の運用	79
	○高潮対策	81
	○地震・津波対策	83
	<仮称> 治水・防災の要点	86
	(4) 利水	
	○環境に配慮した効率的な水利用の促進	87
	○渇水への備えの強化	92
	(5) 利用	
	○川らしい利用の促進	94
	○憩い、安らげる河川の整備	100
	○まちづくり・地域づくりとの連携	105
	○水源地域の活性化	107
	(6) 維持管理	
	○河川管理施設	110
	○許可工作物	116
	○河川区域等の管理	118

(注) 本試行報告書には、一部未完成な部分があります

I 目的

淀川水系河川整備計画(以下、河川整備計画という)に基づいて毎年度実施される個々の事業等がどのように進捗しているかを点検する。

II 進捗点検の考え方

- ・ 進捗点検は、河川管理者が流域全体の視点から実施し、その結果について流域委員会の意見を聴く。
- ・ 河川整備計画の目標に関し、流域の視点に立って、できるだけ効率かつ具体的に進捗点検できる項目を設定した。
- ・ 事務所毎の個別事業等の進捗状況の検証は既存の委員会等を活用して実施することを基本とする。
- ・ 進捗点検は、河川水辺の国勢調査や定期縦横断測量など定期的に行っている調査結果や観測データ等を最大限活用して行う。
- ・ 進捗点検は、対象となる事業特性や段階に併せてその頻度を設定することとし、個々の事業等によって、毎年行うものや、一定の成果がまとまった時に行うものがある。
- ・ 今回の進捗点検は、今後河川整備計画の進捗点検を行う際の参考とするため、平成18～20年度の事業等により進捗した施策等を対象として試行的に実施するものであるが、点検項目によってはそれ以前の内容も考慮した。

III 河川整備計画の内容と進捗点検の関係

河川整備計画の進捗点検にあたっては、「II 進捗点検の考え方」に基づき、点検の対象とすべき項目を河川整備計画より抽出し、各々の点検項目に対して観点を設定した。さらに、設定した観点について、施策の具体的な進捗を示すことができる指標を設定した。本試行における点検項目、観点、指標の関係を別表「点検項目と観点及び指標の関係」に示す。

なお、本報告書では進捗点検の記述の中で、観点は【観点】、指標は[指標]と記載する。

また、進捗点検の構成は、

1. 施策の概要
2. 進捗状況
3. 点検結果

とする。このうち「2. 進捗状況」と「3. 点検結果」は両者を対比できるように横に並べて示す。

別表「点検項目と観点及び指標の関係」

整備計画の目次		点検項目	観 点	指 標	点検頻度		
4.1.人と川とのつながり	4.1.2.日常からの川と人のつながりの構築	(1)人と川をつなぐ	「住民参加推進プログラム」の策定状況	住民参加推進プログラムの検討内容	A		
			住民・住民団体(NPO等)との連携状況	河川愛護活動等の実施内容・回数	A		
			河川レンジャーの進捗状況	河川レンジャーの選任システム・在籍人数 河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数	A A		
			子供達の関わりを促進する取組の実施状況	環境教育等の実施内容・回数	A		
			情報公開の状況	情報公開の内容・件数	A		
			情報発信方法の検証	HP、携帯サイトの内容・利用件数 HP、携帯サイトにおける新着情報の内容・アップ数	A A		
			情報公開発信に関する職員の意識向上	研修等の内容・開催数	A		
			意見聴取手法の開発に向けた取り組み	住民、住民団体との交流内容・回数	A		
			小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備状況	小径(散策路)の整備内容・延長【重複】	A		
			憩い、安らげる河川を目指した河川事業の実施状況	バリアフリー化の内容・実施箇所数【重複】 河川を安心して利用できる整備内容・箇所数【重複】	A A		
	4.1.3.洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	(2)川とまち・地域をつなぐ	三川合流部の整備状況	三川合流部交流拠点の整備内容【重複】	A		
			良好な水辺まちづくりに資する河川事業の実施状況	高規格堤防の整備内容・延長【重複】	A		
4.1.4.上下流の連携の構築		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破壊氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況 関係機関との連携状況	まるとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数【重複】 自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・団体数【重複】	A A		
		上下流の連携の構築	水源地域ビジョンの推進状況 上下流交流を促進するための活動状況	協議会等の設置状況【重複】 水源地域ビジョン策定と今後の活動内容・回数【重複】	A A		
4.2.河川環境	4.2.2.多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	(2)良好な生物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全状況	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数 ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容 オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容 アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数	A B A B		
			生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組状況	関係機関が連携した取り組み内容・回数	A		
			(2)在来種を脅かす対策の推進	外来種対策の実施状況	外来種の現状把握と対策必要箇所の選定内容 駆除対策・予防的措置の実施内容・駆除数量 外来種問題の啓発内容・啓発活動参加者数 外来種の駆除効果についての科学的検証内容	A A A A	
				(3)良好な景観の保全・創出	琵琶湖・淀川水系の歴史・文化多様性の価値の保全状況	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容・整備延長	A
					河川景観を損ねている不法工作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止対策の実施状況	河川景観を損ねている不法工作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容【重複】	A
					ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施状況	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	A
	4.2.3.河川の連続性の確保	(1)水辺や河原の保全・再生	河川の連続性の確保	河岸・陸域の連続性の確保状況 内湾・汽水域-河川の連続性の確保状況 横断構造物(貯水ダム・砂防ダム・井堰など)による遮断対策の実施状況 琵琶湖-内湖・流入河川間の連続性の確保状況	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数 干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積 既設の堰・落差工の改良内容(淀川大堰) 既設の堰・落差工の改良内容・魚道設置数 水域と陸域との連続性の確保と修復内容・箇所数	A A A A	
			(2)魚がのびやすい川への再生	川本来のダイナミズムの再生	流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善状況 瀬田川洗堰による水位操作の改善内容 琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	A A A	
				(3)水域と陸域との連続性の確保と修復	地形変化を促すための検討状況	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	A
	4.2.4.川本来のダイナミズムの再生	(1)水位変動リズムの回復	川本来のダイナミズムの再生	流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善状況	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	A	
			(2)河川環境の保全・再生のための流量の確保	水質総量規制の制度や対策の計画立案状況	水質総量規制の実施体制の検討内容	A	
	4.2.5.流域の視点に立った水循環・物質循環環境系の構築	(1)流域対策と連携した水質の保全	流域の視点に立った水循環・物質循環環境系の構築	流域視点による水質対策の実現状況 水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握状況	南湖の再生プロジェクト取組内容 新たな水質浄化の取り組み状況、流域全体での物質循環を含めた水質汚濁メカニズムの解明に関する調査研究内容 琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果 河川の水質保全対策の取り組み内容	A A A A	
			(2)土砂移動の連続性の確保	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況	ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数 河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム) 土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	A A A	
				(1)モニタリングの実施・公表	モニタリングの実施状況	河川環境のモニタリングの実施内容	A
			4.2.6.流域管理に向けた継続的な施策展開		(2)生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工状況	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数
	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施状況	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容		A			
	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ状況	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容・河川保全利用委員会開催数		A			
	河川環境の保全と再生のための人材育成状況	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容・回数		A			
	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容		A			
				関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施状況		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	A

別表「点検項目と観点及び指標の関係」

整備計画の目次		点検項目	観 点	指 標	点検頻度	
4.3.治水・防災	4.3.2.淀川水系における治水・防災対策	(1)危機管理体制の構築	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えての被害の軽減対策、避難体制の整備状況	災害体験者からの災害状況の聞き取り及びその情報発信内容	A
					自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・団体数【重複】	A
					ハザードマップ作成内容・作成済み市町村数	A
					まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数【重複】	A
					災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容	A
					地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	A
					水防団の高齢化に対する支援の内容・講演、出前講座実施回数	A
					水防拠点整備の内容・箇所数	A
					公共施設の耐水化の内容	A
					災害対応プログラムの作成内容	A
					水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数【重複】	A
					河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況	流域における保水・貯留機能確保の内容・貯留量
		洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の内容	A			
		河川整備計画と都市計画との調整の内容	A			
	(2)堤防強化の実施	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施状況	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	A	
				堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	A	
				堤防天端舗装実施内容・延長	A	
				側帯整備実施内容・延長	A	
				実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容	B	
				実績降雨、計画規模降雨における越水及びHWL超過内容・超過延長	B	
	(3)川の中で洪水を安全に流下させるための対策	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの状況 河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	新設ダムの効果内容・洪水位低下量	A	
				高規格堤防の整備内容・延長【重複】	A	
	(4)高規格堤防(スーパー堤防)の整備	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施状況	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	A	
土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)				A		
(5)土砂対策	土砂対策	土砂移動の制御の実施状況 流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況	河床変動等の土砂動態モニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)	A		
			河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	B		
(6)既設ダム等の運用	既設ダム等の運用	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	B		
			橋梁の嵩上げ内容・箇所数	A		
4.3.3.高潮対策	高潮対策	高潮被害軽減策の実施状況	陸間操作の改善内容・箇所数【重複】	A		
4.3.4.地震・津波対策	(1)地震対策	地震対策事業の実施状況	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	A		
			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	A		
	(2)津波対策	津波対策事業の実施状況	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	A		
			津波情報提供設備の設置内容・設置数	A		
			陸間操作の改善内容・箇所数【重複】	A		

別表「点検項目と観点及び指標の関係」

整備計画の目次		点検項目	観 点	指 標	点検頻度	
4.4.利水	4.4.2.環境に配慮した効率的な水利用の促進	(1)水需要の精査と水利権の見直し	水利権の見直し、転用の実施状況	見直しと転用のためのルール作り内容・件数	A	
		(2)水需要の抑制	慣行水利権の許可水利権化の実施状況	慣行水利権の許可水利権化の内容・件数	A	
		(3)既存水資源開発施設の環境に配慮した効率的運用	水需要抑制の実施状況	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容・ヒアリング回数 住民・事業所等に対する啓発内容・回数	A	
		(4)水利権が見直された場合の既存水源の活用	既存水源開発施設の再編と運用の見直し実施状況	見直しによって効果をあげうる事業の調査検討内容	A	
		(5)安定した水利用ができていない地域の対策	安定した水利用が出来ていない地域の対策状況	新規水源の確保内容	A	
	4.4.3.渇水への備えの強化	(1)渇水調整の円滑化 (2)渇水対策容量の確保	渇水への備えの強化	渇水対策容量の必要性和確保手法の検討状況	渇水対策容量を確保することによる想定被害減少の検討内容	A
4.5.利用	4.5.2.川らしい利用の促進	(1)舟運	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組状況(水面利用)	舟運の取り組み内容・水制整備数	A	
		(2)水面利用の促進		秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数【重複】	A	
		(3)水面利用の適正化	川の安全利用施策の実施状況	水難事故防止に向けた取り組み内容・実施数	A	
		(4)安全利用のための対策		「川に活かされた利用」の実施状況	環境学習などの実施内容・回数	A
		(5)環境学習の推進		陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組状況(川らしい河川敷利用)	河川保全利用委員会の取り組み内容・回数	A
		(6)川らしい河川敷の利用		違法行為の是正内容・不法耕作面積【重複】	A	
		(7)違法行為の是正		憩い、安らげる河川の整備状況	バリアフリー化の内容・実施箇所数【重複】	A
	(1)憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	A			
	(2)水辺の整備	小径(散策路)の整備内容・回数【重複】	A			
	4.5.3.憩い、安らげる河川の整備	(4)小径(散策路)、「歴史文化の薫る散策道(仮称)」の整備	憩い、安らげる河川の整備	迷惑行為の是正内容・対策箇所数	A	
		(5)迷惑行為の是正		ホームレス対応内容・確認数	A	
		(6)ホームレスへの対応		三川合流部の拠点の整備内容【重複】	A	
	4.5.4.まちづくり・地域づくりとの連携	(1)三川合流部の整備	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み状況	歴史文化と調和した河川整備内容	A
		(2)まちづくりや地域づくりと連携した河川の整備		水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	A	
	4.5.5.水源地域の活性化		水源地域の活性化	水源地域ビジョンの推進状況	水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数【重複】	A
ダム周辺の施設整備内容					A	
湖面活用促進の取り組み内容・活用数					A	
4.6.維持管理	4.6.2.河川管理施設	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況	堤防・ダム・護岸の健康診断内容・補修箇所数	A	
				ダム機能の維持内容・堆砂量	A	
	4.6.3.許可工作物(橋梁・水門等)		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導状況	点検、修繕内容・実施数	A	
	4.6.4.河川区域等の管理		河川区域等の管理状況	河道内樹木の伐採内容・伐採面積 堆積土砂の除去内容・掘削量 ゴミの不法投棄の状況及び処分内容・処理量	A	

※点検頻度 凡例
A : 基本的に毎年点検
B : 一定の変化、一定の効果が見られた時に点検